
WEAN SAFE study (人工換気からの離脱に関連する事項の観察研究)

◆研究の目的と概要◆

人工呼吸器からの離脱（人工呼吸を必要としなくなり患者さんご自身で呼吸をすること）の方法は施設や患者さんによって様々な方法で行われ、統一されていません。本研究では世界中の集中治療室における人工呼吸器からの離脱の現状を調査し、より良い離脱の方法を検討していきます。

◆対象となる患者さん◆

2018年2月の間に集中医療センターもしくは救急ICUに入室され、人工呼吸を受けられる17歳以上の患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

・診療情報：性別、年齢、人工呼吸開始日時、集中治療室入室日時、ICU入室要件、入院経過、併存疾患、ADL状況、使用中の薬剤、人工換気モード、血液検査データ、離床の有無、運動療法の有無、集中治療室における予後、退院・転院の有無、集中治療室退室の呼吸補助、治療の差し控え・終了の有無、人工呼吸の離脱困難が差し控え・終了に影響したかどうか、病院予後。

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、海外の研究機関（ヨーロッパ集中治療医学会）に対して電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

ヨーロッパ集中治療医学会が主体となって実施する研究です。日本では国際医療福祉大学集中治療部・倉橋清泰医師が日本における主体となっています。

主体のホームページ

<http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/archive/2017/0920.html>

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
救急科 研究責任者 栗山 明

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明